

厚岸町議会 平成26年度各会計補正予算審査特別委員会会議録

平成27年3月12日

午後4時00分開会

●委員長（谷口委員） ただいまから、平成26年度各会計補正予算審査特別委員会を開会します。

●委員長（谷口委員） 初めに、議案第13号 平成26年度厚岸町一般会計補正予算を議題とし、審査を進めてまいります。

第1条の歳入歳出予算の補正、10ページ、事項別明細書をお開き願います。

次に、12ページ、歳入。款、項、目により進めてまいります。

1 款町税、1 項町民税、1 目個人。

(な し)

●委員長（谷口委員） 2 目法人。

(な し)

●委員長（谷口委員） 2 項固定資産税、1 目固定資産税。

(な し)

●委員長（谷口委員） 3 項1 目軽自動車税。

(な し)

●委員長（谷口委員） 4 項1 目たばこ税。

(な し)

●委員長（谷口委員） 6 項1 目都市計画税。

(な し)

●委員長（谷口委員） 3 款1 項1 目利子割交付金。

(な し)

●委員長（谷口委員） 4款配当割交付金、1項1目配当割交付金。ございませんか。

（な し）

●委員長（谷口委員） 5款1項1目株式等譲渡所得割交付金。

（な し）

●委員長（谷口委員） 6款1項1目地方消費税交付金。

（な し）

●委員長（谷口委員） 7款1項1目ゴルフ場利用税交付金。

（な し）

●委員長（谷口委員） 8款1項1目自動車取得税交付金。

（な し）

●委員長（谷口委員） 11款1項1目地方交付税。

（な し）

●委員長（谷口委員） 13款分担金及び負担金、2項負担金、1目民生費負担金。

（な し）

●委員長（谷口委員） 2目衛生費負担金。

（な し）

●委員長（谷口委員） 3目農林水産業費負担金。

（な し）

●委員長（谷口委員） 14款使用料及び手数料、1項使用料、1目総務使用料。

（な し）

- 委員長（谷口委員） 2目民生使用料。
(なし)
- 委員長（谷口委員） 3目衛生使用料。
(なし)
- 委員長（谷口委員） 4目農林水産業使用料。
(なし)
- 委員長（谷口委員） 6目土木使用料。
(なし)
- 委員長（谷口委員） 7目教育使用料。
(なし)
- 委員長（谷口委員） 2項手数料、1目総務手数料。
(なし)
- 委員長（谷口委員） 3目衛生手数料。
(なし)
- 委員長（谷口委員） 4目農林水産業手数料。
(なし)
- 委員長（谷口委員） 6目土木手数料。
(なし)
- 委員長（谷口委員） 7目教育手数料。
(なし)

- 委員長（谷口委員） 3項1目証紙収入。
(なし)
- 委員長（谷口委員） 15款国庫支出金、1項国庫負担金、1目民生費国庫負担金。
(なし)
- 委員長（谷口委員） 2目衛生費国庫負担金。
(なし)
- 委員長（谷口委員） 2項国庫補助金、2目民生費国庫補助金。
(なし)
- 委員長（谷口委員） 3目衛生費国庫補助金。
(なし)
- 委員長（谷口委員） 4目農林水産業費国庫補助金。
(なし)
- 委員長（谷口委員） 6目土木費国庫補助金。
(なし)
- 委員長（谷口委員） 7目消防費国庫補助金。
(なし)
- 委員長（谷口委員） 8目教育費国庫補助金。
(なし)
- 委員長（谷口委員） 3項委託金、1目総務費委託金。
(なし)

- 委員長（谷口委員） 2目民生費委託金。
(なし)
- 委員長（谷口委員） 4目土木費委託金。
(なし)
- 委員長（谷口委員） 16款道支出金、1項道負担金、1目民生費道負担金。
(なし)
- 委員長（谷口委員） 2目衛生費道負担金。
(なし)
- 委員長（谷口委員） 2項道補助金、2目民生費道補助金。
(なし)
- 委員長（谷口委員） 3目衛生費道補助金。
(なし)
- 委員長（谷口委員） 4目農林水産業費道補助金。
(なし)
- 委員長（谷口委員） 5目商工費道補助金。
(なし)
- 委員長（谷口委員） 6目土木費道補助金。
(なし)
- 委員長（谷口委員） 3項委託金、1目総務費委託金。
(なし)

- 委員長（谷口委員） 6目土木費委託金。
(なし)
- 委員長（谷口委員） 17款財産収入、1項財産運用収入、1目財産貸付収入。
(なし)
- 委員長（谷口委員） 2目利子及び配当金。
(なし)
- 委員長（谷口委員） 2項財産売払収入、1目不動産売払収入。
(なし)
- 委員長（谷口委員） 2目水産物売払収入。
(なし)
- 委員長（谷口委員） 18款1項寄附金、1目一般寄附金。
(なし)
- 委員長（谷口委員） 19款繰入金、1項基金繰入金、2目減債基金繰入金。
(なし)
- 委員長（谷口委員） 4目まちおこし基金繰入金。
(なし)
- 委員長（谷口委員） 6目環境保全基金繰入金。
(なし)
- 委員長（谷口委員） 21款諸収入、1項延滞金加算金及び過料、1目延滞金。
(なし)

- 委員長（谷口委員） 2項預金利子、1目町預金利子。

（な し）

- 委員長（谷口委員） 4項受託事業収入、5目土木費受託事業収入。

（な し）

- 委員長（谷口委員） 6項雑入、2目過年度収入。

（な し）

- 委員長（谷口委員） 3目雑入。

9番、南谷委員。

- 南谷委員 雑入でお尋ねをいたします。

23ページですか。まず、中ほどの資源ごみの売り払い代、372万2,000円の計上なんですけれども、この実績というんですか、今回このような数字が計上されているんですけど、本年度の動きを含めて、昨年度と比べてどのような動きになっているのか、お尋ねをさせていただきます。

- 委員長（谷口委員） 環境政策課長。

- 環境政策課長（尾張課長） ご質問にお答えいたします。

資源ごみの売り払い代でございますが、本年、当初予算で1,020万8,000円を計上させていただいたところでございます。特に、今回372万2,000円増額した中で補正を組ませていただいておりますけれども、特にアルミ缶、当初予算に比べまして1.2倍の量、約5トンふえている状況にありますし、それと1.4倍の価格、約200万円程度の増加になっているというような状況がございます。それ以外におきましてもペットボトル、これにつきましても、当初予算に比べまして1.4倍の量、価格にして60万円程度の増になっているのが主な要因となっております。

- 委員長（谷口委員） 9番、南谷委員。

- 南谷委員 その下に参りまして、いきいきふるさと推進事業の助成金、養殖事業でございますが、今回100万円の計上でございますが、種苗センターの関係だと思っておりますけれども、今回何で100万円ここに計上になったのか、お尋ねをいたしますし、その下、釧路産炭地活性化事業費補助金、ここで260万円の減額になっているんですね、今回。これらについて、まず2点についてお尋ねをさせていただきます。

●委員長（谷口委員） 産業振興課長。

●産業振興課長（阿部課長） いきいきふるさと推進事業助成金ということで100万円の補正予算をお願いしておりますけれども、これにつきましては、今回要望をして申請をしておりました事業が決定しましたので、今回のせらせていただいたということでございますけれども、市町村振興協会にいただく助成金でございますけれども、（南谷委員「何だつて」と呼ぶ）市町村振興協会。（南谷委員「市町村振興協会」と呼ぶ）はい。に申請をさせていただいている助成金でございます。

それで、事業名につきましては、二枚貝種苗生産技術に関する調査事業ということで申請をさせていただいております、この事業、3年間の事業でもって進めさせていただいております、今回、平成26年度、3年目ということで、正式に決定をいただきましたので、今回上げさせていただいたという状況でございます。

●委員長（谷口委員） まちづくり推進課長。

●まちづくり推進課長（湊谷課長） 私からは、釧路産炭地域活性化事業費補助金の内容についてご説明させていただきます。

これにつきましては、当初予算におきまして、カキ種苗センター整備事業ということで、内容としましては、カキ種苗センターの空調設備改修工事、餌料培養槽LED化工事、万能投影機購入ということで、事業費にしまして2,420万5,000円ということで、その9割相当の2,170万円を産炭の補助金で見込んでございましたが、事業執行によりまして、事業費が2,131万3,800円という結果と相なりました。それに伴いまして、助成金の金額も1,910万円ということで、260万円の減額となったということでございます。

●委員長（谷口委員） 9番、南谷委員。

●南谷委員 その下に参ります。町営住宅損害賠償金6万2,000円。金額が小さくて申しわけないんですけど、何で賠償金と、これはどういうことなのかなと。

それから、もう1点だけ伺います。ずっと下に自動販売機設置電気料、ほとんどがマイナスになっているんですよ。実質、町として自販機とか町の施設に設置させていただいているのか、置かせているのかわからないんですけども、電気代が非常に上がってきています。そういう状況の中で実態はどうなんでしょうか。この辺について、1年間のトータルで見たら、電気代が値上がりになったけども、収益として上がっているのかどうなのか、この辺のあらあらの数字でいいんですけども、これだけ設置させているわけですから、町としてどんな状況になっているのか、お伺いをさせていただきます。

●委員長（谷口委員） 建設課長。

●建設課長（松見課長） 申しわけございません。町営住宅の入居を管理するために、厚岸町営住宅管理条例が制定されております。その第20条において、敷金をお預かりすることになっております。この敷金につきましては、入居者が住宅を明け渡すときに還付するものでございますけども、家賃の未納であるだとか、あるいは施設を、例えば壁に穴をあけてしまったり、障子に穴をあけてしまったりといったことで、借り入れしたときの状態といたしますか、それを注意してきれいに使用してもらうことになります。それが退去時にそういった損害を町のほうに与えたと、そういった場合に損害賠償金をこの敷金から控除させてお返しさせていただくということで、今回5件ありまして、合計で5万8,300円という状況があったわけでありまして、当初予算では12万円見ておりましたので、それを減額し、6万2,000円の減額計上とさせていただいたところでございます。（南谷委員「自販機の関係は細かい数字でなくてよろしいですから」と呼ぶ）

●委員長（谷口委員） 暫時休憩します。

午後4時16分休憩

午後4時19分再開

●委員長（谷口委員） 再開します。

総務課長。

●総務課長（會田課長） このそれぞれの施設、庁舎もそうですけれども、今現在、庁舎には4台設置しておりますけども、それで、単純に言うと、それぞれ自動販売機の消費電力というのは、全く数字にあらわれるものではございません。それを専門に消費電力が何ぼということは行っておりませんので、ある計算式をもっといただいております、電気料としてですね。結果的には、この1年間の中で当初見込んでいたよりも売上げが落ちたということで考えていただければというふうに思います。

●委員長（谷口委員） よろしいですか。

（「はい」の声あり）

●委員長（谷口委員） 他にございませんか。

（なし）

●委員長（谷口委員） なければ、進めてまいります。

22款1項町債、1目総務債。

●委員長（谷口委員） 2目民生債。

(なし)

- 委員長（谷口委員） 3目衛生債。

(なし)

- 委員長（谷口委員） 4目農林水産業債。
6番、堀委員。

- 堀委員 農林水産業債、道営セタニウシ地区の公共牧場整備事業債、草地整備事業債ですね、1,990万円の減額となって、提案説明では、この草地整備事業債は確かに交付税措置もない、過疎債に組み替えるわけにもならないと。一般財源的な余裕があるんで、今回起債を借りずに行ったというような説明だったと思うんですけども、ただ、今回は事業費として約4,000万円の約半分の1,990万円ほどの起債なんですけども、それじゃ、草地整備事業債がだめな起債なのかというようなことになってしまうんです。だから、一般財源的に余裕が、確かに新年度予算で2,100万円ほどの草地整備事業債を見ているんですけども、それがあくまでも交付税措置のあるものだけに限定した中で考えていかれると、公共牧場の整備事業を進めていく上でやはり支障が出てくると思うんですよ。一般財源的な余裕のあるときにしかできないとか、そういうようなものになってしまう。そのようにならないような形、今回はたまたま1,990万円というものが、一般財源的にも余裕ができたから起債を借りなくてもよかったんだということで、よかった、よかったというような理解の中でいなければならない。また来年、また再来年といった中で、例えば単年度事業の中で5,000万円、6,000万円とかってなったときに、3,000万円とかですね、そういうような起債を借りるようなときにも、やはり借りて事業をやらなければならないときに、草地整備事業債というものをしっかりと借りた中でやっていくんだというようになってもらわなければならないと思うんです。何か説明の中では草地整備事業債というものが、本当にただ起債として借りるだけで、交付税措置がないから何かだめなような起債のような感じを受けたものですから、決してそういうものではないという認識に立っていただいているのかということをお聞きしたいんですけども。

- 委員長（谷口委員） 税財政課長。

- 税財政課長（小島課長） 本債、道営セタニウシ地区公共牧場整備事業債、いわゆる町営牧場の草地の整備事業にこの起債を発行するという予定でございました。従来もご質問者言われるように、この事業の財源としては当て込んでいた起債ではございます。ただし、現状の中での財政運営の一つの考え方として、起債残高をできるだけ抑制したいということが一つ、それと、これは経産等々でも皆様にもご説明申し上げておりますが、将来負担比率が全道平均、全国平均よりも厚岸町は実はかなり高いということで、後年度の償還負担をできるだけ軽くしていきたいということも考えているということをお聞きしたいんですけども。

にご説明させていただいております。

それで、本債、このたびの3月補正においては、どのような財政の考え方を持って発行をしないということに至ったかと申しますと、これは基金のところでもご説明申し上げましたが、25年度の末残高を、積立基金の全体の額ですけど、これが25年度末は15億2,300万円ほどございました。ただし、これは26年度の当初予算で約4億8,800万円ほど取り崩して予算を組ませていただいたと。26年度執行においての目標として、何とかこれを積み戻ししていきたいということは去年のこの審議する予算委員会の中でも述べさせていただきましたが、それを見た段階では、大体、去年を上回る基金を確保することができそうということがわかりました。その段階でこの部分を発行しなくても基金の積み戻しは確保できるというめどが立ったものですから、発行しないという選択をしたということが一つでございます。

それと、町営牧場の収支の関係でございます。ここは牧場の使用料をもって経営しているところでございますが、実は、人件費、それから公債費の償還等々を見ますと、これは26年度決算見込みでは1億1,000万円ほどの赤字ということになってしまっております。ですから、こういったことも配慮すべきではないかなということで、これを毎年続けるというわけではございません。26年度はこういう見込みが立ったので発行抑制を選択させていただいたということでありまして、27年度は発行する予定で予算を組ませていただいておりますし、そういった意味でございますので、特段これが適債ではないということで取り下げになったとか、そういう意味ではありませんので、その辺はご理解いただきたいと思います。

●委員長（谷口委員） 6番、堀委員。

●堀委員 分かりました。ただ、公共牧場の整備といったもの、昭和42年ぐらいから整備が始まって、当然古くなってきている施設や何かがたくさんある中で、徐々に更新や整備といったものを今後もやはり見込んでいかなければならないといったときには、確かに過疎債とか、そういう交付税財源として当て込めるものがあればそれはいいんでしょうけども、それだってほかにもたくさん使うところがあるわけなんですから、といったときの草地整備事業債なんで、公共牧場の整備といったものの中で滞ることのないようなことをやはり考えていってもらいたいというふうに思いますので、よろしく願いいたします。

●委員長（谷口委員） 税財政課長。

●税財政課長（小島課長） 町営牧場の運営に関しましては、厚岸町の大事な酪農経営を下支えする施設でございます。その基盤である草地は大事な、公共的な意味合いを持った施設でもございますので、そういったことに財源が回らないような状況はつくらないように財政運営も心がけたいと思います。

現状、ただし、過去の草地整備事業債の償還が26年度では5,500万円ございます。公債費の中に隠れておりますけど、こういった実情も鑑みて、交付税措置がないものですか

ら、今回は見送らせていただいたということで、ご質問者の意図は十分わかりますので、これからはそういったことも留意しながら財政運営に当たりたいと思います。

●委員長（谷口委員） よろしいですか。

（「はい」の声あり）

●委員長（谷口委員） 他にございませんか。

9番、南谷委員。

●南谷委員 4目でお願いしたいと思います。質問というよりお願いでございます。

農業債、1,300万円の減額になっておるんですけれども、過疎債が辺地債になったよと。それぞれ草地の関係であるんですけれども、非常にいただいた資料だけでは、私、原課へ行って聞いてきました。実際にやる事業とこの当初予算で計画されているものと実際に事業が推進されるのと、いろいろな事業がここにまじっちゃっているものですから、ここに計上されている数字の実態そのままであれば分かるんですけれども、事業というものがなかなかつかみ切れない部分があります、正直言って。ですから、今回、決算時点でもいいんですけれども、このような動きのあるものについては、補足の資料を今後出していただければなど。毎年なんですね、この時期このように。例えば、辺地債から公共債に変わったよと、それも全国の要望に応じて率が変わる、当初予算では予定は予定として組んでいるんだけど、現実に大きな差異が生じますし、現場での酪農家の意向もあったりして、それぞれ整備が、それぞれ事業がふくそうしてきています。そういうことからすると、税財政課で修正されるんですけれども、ここに上がっている数字はなかなか、私はつかみにくいと思うんですよね、実態、やっている事業と。そういう意味では、もう少しわかる資料を毎年出してもらえればな、大きく違う場合は、こういう補正の場合には出していただければ。実態の事業とそれらの整理を事務方で検討していただいて、提供していただければなどと思いますが、いかがでしょうか。

●委員長（谷口委員） 税財政課長。

●税財政課長（小島課長） 提案する立場として、皆様に分かりやすい予算書の調製を心がけているつもりではございますが、この農業債のところでご説明申し上げますと、まず一つが、道営別寒辺牛地区道路整備事業債がございます。（南谷委員「分かっているからいい」と呼ぶ）よろしいですか。（「聞いたから、原課で聞いたから。それでもなかなか分からないわけだから、ここで今説明を聞いても……。資料を出してもらえるかどうかの要望だから、それだけだめかいいか言ってくればいい」と呼ぶ）ただし、ご説明させていただきたいんですけど、道営別寒辺牛地区道路整備事業のために発行した起債ということで事業債とつけていますので、どの事業に当て込んでいるかというのは分かるようにしているつもりでございます。それから、太田地区活性化施設整備事業債もそのとおりであります。

ほかの部分も含めまして、より分かる工夫はこれからもさせていただきたいというふうに思いますが、ご理解いただきたいと思います。

●委員長（谷口委員） 9番、南谷委員。

●南谷委員 僕言っているのは、明示されている部分については分かるんだけど、実態の当初予算で、今年の計画こうですよといったときに、一つ頭に整理しますよ。ところが、やっていくときに、より有利な起債を借りて変更するよと。そうすると財源内訳とかというのは我々は全然つかめないんですよ。ところが、その上に実際にやる現場での事業というものはまた変わってくると。そうすると、たまたまこの時期にこれを出されても、原課に行って聞くんだけど、やっぱり簡単に理解ができない部分があるので、そういう場合には、今回のような場合には、できれば、それが分かるような、事業とお金目とこうなりましたよというような分かるような資料を出してもらえればなという要望なんで、この数字の説明は私は求めていません。それができるのかどうかということだけいただければいいです。

●委員長（谷口委員） 税財政課長。

●税財政課長（小島課長） 質問の趣旨が理解できました。今後の予算の審議の中で、どういった資料が分かりやすいのかということも含めて検討させていただきたいというふうに思います。

●委員長（谷口委員） よろしいですか。

（「はい」の声あり）

●委員長（谷口委員） 他にございませんか。

（なし）

●委員長（谷口委員） なければ、進めてまいります。
5目商工債。

（なし）

●委員長（谷口委員） 6目土木債。

（なし）

●委員長（谷口委員） 7目消防債。

(な し)

- 委員長（谷口委員） 8目教育債。

(な し)

- 委員長（谷口委員） 以上で、歳入を終わります。
次に、28ページ、歳出に入ります。
1款1項1目議会費。

(な し)

- 委員長（谷口委員） 2款総務費、1項総務管理費、1目一般管理費。

(な し)

- 委員長（谷口委員） 2目簡易郵便局費。

(な し)

- 委員長（谷口委員） 3目職員厚生費。

(な し)

- 委員長（谷口委員） 4目情報化推進費。

(な し)

- 委員長（谷口委員） 5目交通安全防犯費。

(な し)

- 委員長（谷口委員） 6目行政管理費。

(な し)

- 委員長（谷口委員） 8目財政管理費。

(な し)

●委員長（谷口委員） 9目会計管理費。

（な し）

●委員長（谷口委員） 10目企画費。

（な し）

●委員長（谷口委員） 11目財産管理費。
6番、堀委員。

●堀委員 ここで公共下水道の受益者負担金143万8,000円、こちらが予算書を見ていくと住宅費のほうに変わっているんですけども、こちらが減額になって、住宅費のほうで増額となっているんですけども、ここの理由というのを教えていただきたいと思います。

●委員長（谷口委員） 建設課長。

●建設課長（松見課長） 今、私どもの手元にある資料の中では、平成20年から受益者負担の内容が書かれている資料がございます。それは公営住宅のみならず、職員住宅であるだとか、他の土地に係る受益者負担も入っております、そういった一括計上されていたものが現在では、実は平成25年度からなんですけども、残っているのが宮園町営住宅ですね、これだけになったと。受益者負担金を払う場所ですね、これが町営住宅のみになったと。それで後段に出てくる、119ページになりますけども、町営住宅という事業予算のほうで、項目が1つになったということで分かりやすくしたということでございます。

●委員長（谷口委員） 6番、堀委員。

●堀委員 そうすると、宮園の高層住宅分のところの受益者負担金だけが残っていたものだから、今までは他の科目もあって、財産管理という名目の中で払っていたけども、あとは宮園の高層住宅の分だけの、区域変更した後のところだと思うんですけども、そこだけが残っているんで、そちらのほうに行った。はい、分かりました。はい、いいです。

●委員長（谷口委員） よろしいですか。

（「はい」の声あり）

●委員長（谷口委員） 他にございませんか。

(な し)

- 委員長（谷口委員） 進めてまいります。
12目車両管理費。

(な し)

- 委員長（谷口委員） 2項徴税費、1目賦課納税費。

(な し)

- 委員長（谷口委員） 3項戸籍住民登録費、1目戸籍住民登録費。

(な し)

- 委員長（谷口委員） 4項選挙費、1目選挙管理委員会費。

(な し)

- 委員長（谷口委員） 5目衆議院議員選挙費。

(な し)

- 委員長（谷口委員） 5項統計調査費、1目統計調査総務費。

(な し)

- 委員長（谷口委員） 6項監査委員費、1目監査委員費。

(な し)

- 委員長（谷口委員） 3款民生費、1項社会福祉費、1目社会福祉総務費。
3番、石澤委員。

- 石澤委員 この民生委員推薦会のことでもちょっと聞きたいんですけど、今、民生委員は何人いるんですか。それと、全体何人必要なのか、それから地域はどうなっているのかということを知りたいんです。

- 委員長（谷口委員） 保健福祉課長。

●保健福祉課長（高橋課長） お答えいたします。

現在、民生委員33名で、町内で今欠員になっている地区が尾幌地区1名、宮園地区1名と2名が欠員になってございます。

●委員長（谷口委員） 3番、石澤委員。

●石澤委員 その補充はどういうふうになっているんでしょうか。

●委員長（谷口委員） 保健福祉課長。

●保健福祉課長（高橋課長） お答えいたします。

民生委員は、非常に地域でも重要な役割を担っていただいております。毎月定例会議を開いて、いろいろなこと、さまざまな取り組みをしていただいております。

それで、宮園と尾幌と今2名欠員になってございますけども、実はいろいろ手を使って、例えば自治会ですとか地域の方をお願いをして、適任者がいないかということで探してはいるんですけども、なかなか補充ができないということで、私どもも大変困っている現状にあります。いろんな情報をつかまえて、個別にお願いできるような方がいらっしやいましたらお話をさせていただいているんですけども、なかなか受けていただけないというような状況にございます。

●委員長（谷口委員） 3番、石澤委員。

●石澤委員 仕事が大変だということもあるんでしょうかね。今とても民生委員の人たちの働き方というのは、見ていたらすごいなと思うものですから、やっぱりきちっと補充することを地域の人と相談しながらやってほしいなと思いました。

それと、すみません、福祉灯油なんですけど、今、国のほうで地域再生の中にあるのかな、低所得者向け福祉灯油購入助成という項目があると思うんですけど、厚岸の場合は、これは利用してふやすということを考えていないんでしょうか。

●委員長（谷口委員） 保健福祉課長。

●保健福祉課長（高橋課長） 27年度のお話になるかと思えますけども、27年度でよろしい……、次年度ということですか。（石澤委員「いや、今も。今回も含めて」と呼ぶ）今回、26年度でしょうか。（石澤委員「はい、含めて」と呼ぶ）26年度につきましては、ここに8万8,000円の補正をしておりますけど、これにつきましては、件数がふえておりまして、その分で増額になった部分でございます。リッター数は、昨年60リッターから75リッターに増量させた内容でございます。今年度につきましては、この内容でいきたいというふうに考えてございます。

●委員長（谷口委員） いいですか。

(「はい」の声あり)

●委員長(谷口委員) 他にございませんか。

(なし)

●委員長(谷口委員) なければ、進めてまいります。
2目心身障害者福祉費。

(なし)

●委員長(谷口委員) 3目心身障害者特別対策費。

(なし)

●委員長(谷口委員) 4目老人福祉費。
3番、石澤委員。

●石澤委員 これは老人福祉費の中で、社会福祉協議会老人福祉施設職員補助金とありますが、この未払いの問題はどういうふうになったのでしょうか。全部払うことができたんですか。

●委員長(谷口委員) 総務課長。

●総務課長(會田課長) 最終的に総務課のほうでその部分担わせていただきましたので、私のほうからお答えさせていただきます。

対象者には全て、未払金につきましてはお支払いをさせていただきました。最終的にお支払いをした後にそれぞれの方々と合意書を交わして、今現在、他の問い合わせ等もない状況ということで、未払金の支払いにつきましては終了したというふうに考えております。

●委員長(谷口委員) よろしいですか。

(「はい」の声あり)

●委員長(谷口委員) 他にございませんか。

(なし)

- 委員長（谷口委員） なければ、進めてまいります。
5 日後期高齢者医療費。

（な し）

- 委員長（谷口委員） 6 目国民年金費。

（な し）

- 委員長（谷口委員） 7 目自治振興費。

（な し）

- 委員長（谷口委員） 8 目社会福祉施設費。
6 番、堀委員。

- 堀委員 生活改善センターの耐震診断事業が行われているんですけども、この結果が出ているのかなというふうに思うんですけども、結果を教えていただきたいと思うんですけど。

- 委員長（谷口委員） 町民課長。

- 町民課長（板屋課長） お答えさせていただきます。

改善センターの耐震診断の結果でございますけれども、鉄筋コンクリート部分、2階建て部分でございます。こちらのほうは耐震結果がオーケーということになってございます。それで、鉄骨部分の大研修室のほうは、耐震が足りないということでNGという結果となっております。

- 委員長（谷口委員） 6 番、堀委員。

- 堀委員 そうすると、大研修室側がNGということは耐震基準に満たないということなんでしょうけども、これの対策並びに使用制限や何かがかかってくるのか、そういうものはどのようになるんでしょうか。

- 委員長（谷口委員） 町民課長。

- 町民課長（板屋課長） これからの計画関係でございますけども、この結果が出たのが実は去年12月22日でございます。2カ月くらい前ということで、まだこれからどのように直していくか、またはどういうふうにしたらいいのか、そういう検討についてこれから詰めていかなければならない課題と思っております。

それから、使用制限でございますけれども、この施設につきましては非常に利用率が高い施設でございます。それで、利用者の安全をまず一番先に考えなければならないんですけども、こんなことを言うとあれかもしれませんけども、診断がNGということで今すぐ崩れるというものではないと思っております、これからその使用の考え、どのような方法で改修していくか、検討させていただきたいと思っておりますので、ご理解願いたいと思っております。

●委員長（谷口委員） 6番、堀委員。

●堀委員 そうですね、いつ震度6強とか震度7の地震が来るかもわからないといった中では、直ちにとというのは分かるんですけども、ただ、少なくとも、例えば1月には厚岸町の新年交礼会も行っておりますよね。また、選挙や何かの投開票事務もやっているような中で、そのようなものがやられているときに来ないとも限らないといった中では、やはり何らかの方向性がなければいけないのかな。また、利用者、使用者に対しても、そのような周知の仕方というものもやはり必要になってくるんじゃないのかなというふうに思うんで、そこら辺は当然、厚岸町のほうでもきちんとやられると思うんですけども、抜かりなくやっていただきたいし、また、ですから、使用者側が当然そういう危険性を承知の上での使用となったときの認識の不足というものが起きないようにしていただきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

●委員長（谷口委員） 町民課長。

●町民課長（板屋課長） 今、委員おっしゃったとおり進めていきたいと思っております。ご理解願いたいと思っております。

●委員長（谷口委員） 他にございませんか。

（な し）

●委員長（谷口委員） なければ、進めてまいります。

2項児童福祉費、1目児童福祉総務費。

（な し）

●委員長（谷口委員） 2目児童措置費。

（な し）

●委員長（谷口委員） 3目ひとり親福祉費。

(な し)

- 委員長（谷口委員） 4目児童福祉施設費。
6番、堀委員。

- 堀委員 ここでも厚岸保育所が耐震診断をされていたかと思うんですけども、その結果について教えていただきたいと思います。

- 委員長（谷口委員） 保健福祉課長。

- 保健福祉課長（高橋課長） お答え申し上げます。

厚岸保育所につきましても改善センターと同じ時期に結果が出ております。結果を申しますと、X方向とY方向、縦と横の耐震性が診断されましたけども、X方向、つまり建物正面から見て左右方向に対する耐震が低いと。判定からいきますと、3段階でございまして、1段階が地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、または崩壊する危険性が高いという判定、2が地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、または崩壊する危険性があるという診断、3が地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、または崩壊する危険性が低いというような3段階が出されております。厚岸保育所につきましては、X方向、横方向の耐震性の判定が2という形で出ております。Y方向、縦方向ですけども、これにつきましては判定が全て3ということで、一方方向の耐震性がないというような判断が出ております。

- 委員長（谷口委員） 6番、堀委員。

- 堀委員 そうすると、ここは施設全体として縦、横、どちらがXでYなのかというのはちょっとあれなんですけども、どちらかが2だということなんです。といったときの、先ほど来、生活改善センターの議論でもあったんですけども、やはりそうなったときの対処ですね、今後の改修、先ほど生活改善センターのときにも、昨年末だったものですから、当然3カ年や何かというものも盛り込むことができないといったような中で、実際の検討はこれからだと言われたんですけども、やはり同じように厚岸保育所においても、改修の方向性というのはこれから出されることになるんでしょうか。

- 委員長（谷口委員） 保健福祉課長。

- 保健福祉課長（高橋課長） お答えいたします。

厚岸保育所、今年度、耐震診断をやりまして、今言ったような結果が出ております。実は昨年、宮園保育所も耐震診断をやって、宮園保育所もやはり一方向の耐震がないという結果が出ております。あと、真竜保育所もご存じのように建築年数が古いということになってございまして、この3つの認可保育所ですけども、耐震補強または改築が必要になってございます。

ただ、耐震補強ですけれども、耐震補強となると3カ月ぐらい時間がかかると。なおかつ工事が中からやらないとということで、そうなりますと保育所が利用できないという形になります。それで、一時的にどこかの場所に移って工事ということも考えられますけれども、保育所につきましては給食施設とかそういう部分もありますので、なかなか代替して一時期保育を行うというような状況にならないことで、非常に担当としても苦慮しております。

それで、3カ所にわたることなものですから、改築にしても規模とか場所とかいろいろな部分がございます。それで今内部で協議をさせていただいて、全部に係るものから、一遍になかなかできないので、計画的に建設計画というか、そういう配置計画みたいなものを今考えております。それで、いろんな方法が考えられますので、今そういうものを練ってございます。

あと職員に対しても、結果を伝えて、建物はこういう状況になっていますというような報告もさせていただいております。あと、今後はもちろん利用される保護者の方、地域の方にもご相談して、ご説明をして、どういう形でやっていけるかというような形を今とってまいりたいと思います。それで、できるだけ早く計画をつくって対応したいというふうに考えてございます。

●委員長（谷口委員） 6番、堀委員。

●堀委員 ただ、そうはいっても、少なくとも学校であれば文科省の予算や何かもすぐついて、耐震化というのが厚岸町の場合は幸いできたんですよね。ただ、保育所のほうがなかなかそうやって進まないといった中で、まず真竜保育所から始まっていてはいるんですよね。いつまでたってもその計画というものが出てこない。それじゃ、預ける親として大変、切迫的な不安はないのかもしれませんが、地震があったときにはやはり大きな不安というものを感じてしまう。これからの子育てといった中では、施設の耐震化というものはやはりしっかり考えてもらわなければならないんじゃないのかなというふうに思うんですよ。そういう危険性というものがある、その耐震結果、あくまでも結果としてのあれですけども、そういうものは親御さんにも話した中でしっかりと理解をしてもらうような努力はしてもらいたいですし、また、厚岸町においては、認可保育所の耐震化というものはやはり真剣に考えてもらいたいと思うんですけども、町長いかがでしょうか。

●委員長（谷口委員） 町長。

●町長（若狭町長） お答えをさせていただきます。

実は執行方針でも申し上げたところでございます。今、保育所の耐震化についての質問が出ているわけでありますが、保育所のみならず、町有施設が老朽化しておるという現在を迎えておるわけでありまして、先般お話しいたしましたけれども、消防署も危険、耐震を含めて、また津波を含めて移転をしなければならない。さらにはまた生活改善センター、保育所、特に保育所につきましては、児童を預かる、安全を確保しなければなら

らない大事な施設であります。そこでも今耐震の結果を見て、原課にも指示をいたしております。先ほど課長からお話があったとおりです。今後の厚岸の保育所はどうあるべきかということについては、既に対応にかかっておりますので、早急に、迅速に、その方向を見つけてまいりたい、そのように考えておりますので、ご理解をいただきたいと思ひます。

●委員長（谷口委員） 他にございませんか。

（な し）

●委員長（谷口委員） なければ、進めてまいります。
5日児童館運営費。

（な し）

●委員長（谷口委員） 本日の会議はこの程度にとどめ、あすに延会したいと思ひますが、ご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

●委員長（谷口委員） 異議なしと認めます。
本日はこの程度にとどめ、あすに延会いたします。

午後4時58分延会

以上のように会議の次第を記載し、ここに署名する。

平成27年3月12日

平成26年度各会計補正予算審査特別委員会

委員長